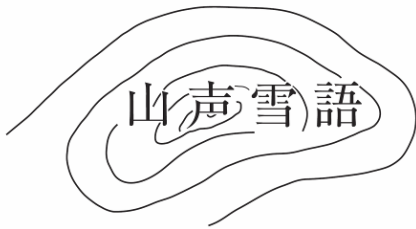


京交山岳部報

例会予告 (2017年12月～2018年1月)

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2774回 納山祭 鶴路山 (点名「大平」 3等 △291.7) 点名「浜島」 (2等 △156.4)	12月16日(土)～ 17日(日) 集合 竹田駅西口 AM 8:00	清水康裕 岡本義弘 吉田 武	16日 竹田駅西口～名神京都南IC (新名神・伊勢道) 玉城IC～南勢 大橋～鍛冶屋TN～R260～五ヶ所浦 ～木谷TN～浜島町南張～磯笛TN ～浜島登山口・・点名「浜島」往復 ～R260～五ヶ所浦～二葉 旅館「二葉」泊 17日 二葉～R260押縁～鶴路山登山 口～鶴路山往復～R260～鍛冶屋TN ～伊勢道玉城IC～新名神～名神 京都南IC～竹田駅西口 解散
備考 費用約17,000円 日帰り登山装備 旅館「二葉」三重県度会郡南勢町五ヶ所浦 953 tel.0599-66-0028			
第2775回 初登山 犬打峠から 点名「腰越谷」 (3等△521.8)	1月8日(祝・月) 集合 竹田駅西口 AM9時	清水康裕 岡本義弘 吉田 武	竹田駅～R24～R307 郷の口～犬打川 ～犬打峠～林道登山口～腰越谷往復～ 郷の口～竹田駅
備考 恒例のゼンザイを作りますので、各自モチを持参してください。費用は山岳部会計より負担します。			
12月の集会 日時 12月13日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)		12月の企画運営委員会 日時 12月20日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)	
1月の集会(新年会) 日時 1月15日(月) 18:30～ 場所 「かごの屋」四条烏丸下ル西側		1月の企画運営委員会 日時 1月24日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)	



ドライブレコーダーは、自分自身を守れるのか

今年6月、東名高速道路でワゴン車に大型トラックが追突して、夫婦が死亡。この事件が起きたきっかけで、10月上旬からニュース番組でこの手の交通トラブル報道が増えている。全国各地で相次いでいるらしい。検挙される事例が増加傾向にある。以前から交通トラブルは、大なり小なりあったと思うが、交通トラブルが原因で死者が出るとは、あまり聞いた事は記憶にない。

今回6月の事件の原因は、現場手前のパーキングエリアで、ワゴン車の進路をふさぐように駐車していたのを注意したという。私ならどうしていただろう。普段は物静かな人なのにハンドルを握ると凶暴になる人は少なからずいる。だから、無視しているはず。

あるテレビ番組のインタビュー調査で60代男性は、「若造に抜かされて腹が立つ」また、20代の男性は、「軽自動車に割り込まれてムカツイタ」と言っていた。また、酒を飲んで暴れる人は、勤務中は静かで従順なタイプで自分を抑えているから、何かのきっかけで発散するらしい。車を間違った使用でストレス発散する人が最近は多いと誰もが感じるはずだ。あおり運転をする車は、単純で誰もが分かりやすいから、面倒そうな車には近づかないことだ。

そして最近、万が一、交通トラブルが起きた事を想定してドライブレコーダーを装着する人が増えている。ドライブレコーダーは、事故が起こってしまった時などに、前方映像や音声などを記録してくれる車載カメラ装置であることはもちろんだが、最近では、使用方法について個人的に考え方が分かれる。私の場合は今まで交通事故が起きた時が重要な役割を果たしていると考えていたので、このような交通トラブルがメインではなかったが、やはり車を運転して「キレル」人が増える中、今では、トラブル発生に役に立つと思うように変わってきている。

先ほど文章中ほどに述べたように自分自身に落度がなく安全運転をしているのに他車が危険な行為であおってくるなら近づかない事が重要だと思う。また、万が一運が悪く巻き込まれた場合は、可能な限り安全な場所に停車させ、窓も開けずドアをロックし、相手とも会話もせず、ただちに警察に通報する事が大切だと思う。

そしてこのような悲惨な事件を発生させないよう、お互い「おもいやり」運転をすることが一番大切ではないだろうか。そして、ドライブレコーダーを装着したからと「安心」と思わず、今一度自分自身の運転のありかたについて考え直さなければ、ドライブレコーダーは、自分の味方どころか「敵化とする」だろう。
(匿名希望)

【第2771回例会】

上信越の山 苗場山・笠ヶ岳

烏丸 山下 幸宏

ちなみに私は、野沢温泉スキー場に毎年欠かさず通い続けて26年。この野沢温泉スキー場上部にある毛無山頂上から苗場山を眺める事を楽しみにしている。ここから苗場山まで直線距離で約39

km。いつかは山容に特徴のある苗場山に登りたいと思っていたが、やっと機会がまわって来た。今回は、秋山郷から志賀高原を縦断する感じで山旅を楽しむ計画を立てた。だが、登山日の天気予報は、秋雨前線が停滞しているので、雨の中を登るのか止めるのかを井戸氏はギリギリまで悩んでおられた。私は、槍が降らない限り行くつもりであった。

10/14 18:00 烏丸御池で井戸氏と待ち合わせた。途中大津 SA で夕食、その後予定通り豊田飯山インターで降り、国道 117 号を北上する。津南町から秋山郷に近づくにつれてコンビニが激減、もしくは一軒もない可能性があるため、常磐大橋手前のコンビニで足りないものを買った。

10/15 1:30 道の駅「信越さかえ」で仮眠。出発してからここまで一切雨は降らない。そして、さっき買ったビールを飲みたかったが、まだ小赤沢三合目登山口まで走らなければならないので、自販機で 17 アイスのプリンカスタードを食べた。4:30 に再び走りだし、津南町役場手前の交差点を右折、国道 405 号を南下した。やがて道は次第に細くなり道路幅の拡張工事が増え始めた。一ヶ所だけ夜 10 時～朝 5 時まで通行止めの工事があり、ここに差しかかったのは、5:03 であった。まだ工事車両一台のトラックが残存しており、少し待たされた。また、商店もコンビニも無く、かなり山中になり、この辺りから雲行きが怪しくなり、濃霧と小雨が小赤沢三合目登山口まで続いた。

6:30 三合目登山口到着。結構広めの駐車場であった。天気は、相変わらず悪く、ガスが広がり小雨が降り続くが、ひどくなる感じではない。7:15 山頂を目指して出発した。木々の葉が美しい中、歩き進む。但し六合目から九合目の間岩が多く急登が続き、全く意味のないロープや鎖が垂れていた。九合目からは、少々荒れ気味の木道歩きとなり、小雨から小粒のアラレに変わり、そのアラレは 2 分程降った。また、周囲の山々はガスで見えず、その代わり美しくて広大な湿原にある大小の数えきれない程ある池塘を見ながら苗場山頂 (1 等△2145.3m) に 10:18 到着。気温 3℃。若干身体が濡れて寒いので小屋に入れてもらい、場所代 300 円を支払って休憩と食事をし、暖かいお茶を貰った。私は、他の登山者と情報交換をしてくつろいでいた。やがて 1 時間後、井戸氏が 11:15 到着した。そして 12 時前に支度を済ませ、もう一度井戸氏と山頂三角点に向かい記念写真を撮った。そして、下山ルートは往路と同じコースを歩き、足元が悪い中、スリッパしないよう気をつけながら 14:45 三合目登山口に無事戻った。到着後雨具を脱ぎ、さっさと車に乗り込んで本日の宿「苗場荘」に向かう。15 分程で着き、とりあえず風呂の割引券を貰う。途中、蛇淵の滝に寄り写真撮影、紅葉は、ほんの少し早かったが、綺麗である。そして小赤沢温泉楽養館に行った。この湯は、有馬温泉の「金泉」を数倍以上濃くした湯であり、とても満足した。約二時間で宿に戻り、夕食を食べた。食事内容は、郷土料理で普段食べる事の出来ない物ばかりで、量もたくさんあり食べきれなかった。他の人のコメント通り若い女将さんも料理もすべて良い宿であった。

10/16 朝、目が覚めると依然雨が降り続けている。井戸氏と相談した結果、本日予定していた破風岳・土鍋山登山は中止して、紅葉ドライブをする事とした。9:00 苗場荘出発、切明温泉の前を通り雑魚川林道を進む。やがて野沢温泉方面と志賀高原に分かれる T 字路に出る。この付近手前から奥志賀高原スキー場手前までの紅葉が一番色づいており、何回も車を止め写真撮影をした。そして途中、高天原マンモススキー場の前にある「銀嶺」でコーヒータイムをした。天候はイマイチなので、一旦麓に降りる事とする。湯田中温泉郷に寄ったが、ほとんど店は閉まっていた。次に道の駅「北信州やまのうち」に立寄りかけそばを食べ、ついでにりんごと米を買った。このあと、時間はたっぷりあるので、福井原ゴルフ場の先にある撮影スポットに行くが、手前 5 キロ地点で通行止めで非常に残念であった。仕方ないので、少し早めに今日の宿に向かう。山田牧場を経由、途中八滝と雷滝を見て明日登る笠ヶ岳登山口の横を通り「志賀高原ホテル一望閣」には、15:00 に到着した。乳白色の湯に何度も浸かった。夕食は、カナダ産松茸？料理を美味しく食べた。

17 日 朝 6 時までしっかり降り続いた雨も上がり、天気は回復に向かう。8 時に出発、渋峠経由、破風岳、土鍋山がある毛無峠に車を走らせる。昨日までとは違い、良い展望で素晴らしい。約 1 時間で到着、気温は 5℃、北風がやや強く、周囲の景色(小串硫黄銅山跡地、雲が半分かった浅間山、

赤城山方面)を見ながら登るか登らないか思案したが、寒そうだったので結局中止した。再び往路を戻って笠ヶ岳「峠の茶屋」に向かう。11時到着。山頂往復35分、登り17分で笠ヶ岳(2等△2075.8m)山頂に着いた。ガスがかかったり、切れたりの繰り返しであったが結構良い眺望。私は、写真、ビデオ撮影。井戸氏は渡辺さんから貰った帽子を持って記念写真。今までの事を思い出されていたようだった。2~30分楽しんで12時過ぎ茶屋に戻って昼食にラーメンを美味しく食べた。その時二人のおばさんが私達に話しかけてきて少し喋ったが、結局宗教の勧誘であり、ものすごくイヤな気分になる。私達は、この場所からさっさと立去り、一望閣に戻って風呂に入って最後に潤満滝を見て帰りたくないが、信州中野インターから乗り帰京した。そして今回の山旅も思い出深いものとなり、特に山深い秋山郷は忘れる事ができないくらい強烈なインパクトを受けた。志賀高原、ここは、何度行っても飽きない私の大好きな場所。次訪れるとしたら、スキーシーズンかな?野沢温泉とセットで。

【参加者】井戸澄夫 山下幸宏

コースタイム

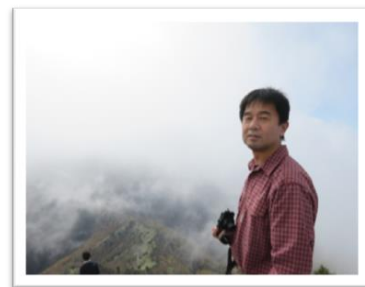
- 14日 18:00 烏丸御池集合・出発～京都東IC(名神・中央・長野道・上信越道)豊田飯山IC
～道の駅(仮眠)～
- 15日 ~6:30 小赤沢三合目登山口 7:15・・・11:15 苗場山頂(1等△2145.3)山頂ヒュッテ
12:00・・・14:45 小赤沢三合目～秋山郷民宿「苗場荘」泊
- 16日 秋山郷・山内町・高山村の紅葉を鑑賞～志賀高原熊の湯「一望閣」泊
- 17日 8:00 渋峠・山田峠・毛無峠ドライブ～11:00 笠ヶ岳峠の茶屋・・・11:30 笠ヶ岳山頂(2等
△2075.8)11:50・・・12:10 峠の茶屋(昼食)12:30～12:45 熊の湯「一望閣」(入浴)13:15
～信州中野IC(帰路高速)京都東IC～19:00 京都



苗場山頂にて



笠ヶ岳山頂にて



【第2772回例会】

丹波 妙見山(3等△622m)、白山(510m)

井戸澄夫

昨年の11月に里山の紅葉を楽しもうと例会にした丹波篠山の西方にある山であるが、都合により中止にしたので、今年は必ず登ろうと11月3日に予告していたが、所用があり11月4日に変更した。連絡いただいた森本氏には日程が調整できず申し訳ないことであった。10月は雨に祟ら

れたが、11月になってやっと秋らしい天気になってきた。今回の山行も概ね好天だったが山中で時雨に会った。アクセスは播但道から西脇経由で入る方法もあったが、宝塚で渋滞するのが予想されたので、亀岡から篠山回りで行った。しかし登山口の門柳には福知山線に沿って大きく回りこむので結構時間がかかった。第2名神の高槻～神戸 JCT 間が平成29年度中に開通ということで、宝塚での渋滞が無くなれば中国・山陽方面へのアクセスがもっとよくなると思われるので期待したい。妙見山・白山への登山口は北側の本黒田からと南側の門柳とがあるが、門柳の住吉神社から妙見山→白山を一周するのが効率よい。住吉神社前に駐車し、道標に沿って林道を行くと鹿やイノシシ除けの頑丈なフェンスに突き当たる。扉を自分で開閉する。最近、里山に登るときには必ずといっていいくらいフェンスに突き当たる。野生動物と共存共栄するためにはやむを得ない方策であろうか。谷沿いの植林帯をしばらく進んで、尾根に取り付くと広葉樹の雑木林となる。黄や赤に色づいている。里山の紅葉は楽しめるが、山道が荒れているのは困ったことである。よく歩かれているハイキングルートとっていたのだが、倒木が多く、踏み跡も少なく、あまり歩かれていないようである。京都の北山でも歩かれなくなった道はすぐに荒れていく。そうなるとうます人は遠ざかる。やがて山は藪山に戻る。そのほうがより自然に近くなるので良いという人は少ないだろう。やはりハイキングコースは整備してほしいものである。妙見山の山頂は眺望がなく、小さな祠があり、その後ろに3等三角点が鎮座している。風が強く冷たいので、少し低く風の弱い場所で昼食にしたが、急に曇って時雨が来た。あわてて傘をさして白山に向けて尾根を辿った。白山へは小ピークを2つほど越えていく。白山の山頂は石灰岩の白い岩であり、木が無いので眺望がよい。北側と南側の山々と集落が見渡せる。白山という名前なので信仰の山かと思ったが、祠もないので白い岩の山ということかも知れない。また三角点も探したが見つからなかった。白山からの下りは急であり、やはり荒れている。やはり頑丈なフェンスの扉を開けて人里に戻ってきた。

帰路、「こんだ薬師温泉」で汗をながした。丹波の里山は紅葉の盛りであった。

[コースタイム]8:00 京都出発～宇治西 IC (京都縦貫道) 千代川 IC～篠山～黒田～門柳～10:30
住吉神社・・12:20 妙見山頂 (昼食) 12:40・・12:50 十字路・・13:30 白山・・14:30
住吉神社～温泉入浴～19:30 京都

【参加者】井戸澄夫、他1名



妙見山頂上



白山頂上

稲村山と諏訪湖マラソン

烏丸 山下 幸宏

今年8月に西上州の稲村山を登ろうと思って登山口まで行ったが、小雨で中止し、そしてその時、軽井沢の画廊で頼んでいた絵がやっと完成し、取りに行くついでに再び稲村山を登る事とした。10月に入り、二度目の台風が近づく中、少し焦り気味であった。

10/27 22:00 出発、翌日 10/28 6:10 稲村山登山口(標高 650m)のある赤坂集落に着く。国道 18 号碓氷バイパスから入る時に迷った。(集落に入る道は、確認出来たが右折禁止であった為、Uターンする箇所を探した)そして赤坂橋手前の3~4台ほど駐車できるスペースに駐車。天候は曇りで、台風が接近しているが、雨がもう近づいているのは確かである。すばやく荷支度を済ませ、歩き始めた。林道を3分ほど行くと「←稲村山, 八風平, 高岩」という小さな標識が立木に打ち付けてあるのだが、見逃してしまいそう。20分ほど緩やかな植林の中を歩くと鞍部に出る。ここから一気に直登し、登りきるとまだ肩で、ここから1分もかからず稲村山(952.6m)山頂に僅か35分で着く。やや狭い山頂には、一本の松と三等三角点、石祠があった。周りの木々は低く展望は良いが、日が高くなるにつれて高い山々にガスがかかり始め、浅間山は見えないが、周囲の山急山、裏妙義、谷急山等(私の知っている限りの山)が良く見えた。そして私が最も気になる恩賀高岩が大きくカーブした上信越道と共に格好良くそびえ立っていた。ゆっくり景色を眺め、写真とビデオ撮影して、もと来た道をたどり、あっという間に駐車場に7:30戻った。僅か1時間20分で往復でき、眺望も抜群でお手軽な山で、多忙な私にとっては、最高の山であった。この次は、恩賀高岩に登りたいのだが、どなたか「山下と一緒にいきます！」と手を上げてくれる方はいないだろうか。いないネ、多分。(笑)

下山後、軽井沢に向けて車を走らせる。軽井沢に入り、いつもの大きなキノコ像がある駐車場に止め、とりあえずパン屋に向かい、店内で朝食を取る。やがて約束していた時間になり、「アートモガダム」という店に行く。店主のモガダムさんと色々喋ったり、写真を撮り、楽しい時間はあつと言う間に過ぎた。また、夏の軽井沢も涼しくてよいが、秋の軽井沢はとても素敵であった。

10:30 出発、それと同時にとうとう雨が降り出した。車内では、明日の諏訪湖マラソン「間違いなく雨やなあ」と落胆した口調で語りあった。そしてどうしても寄りたかった小海リエックス周辺の白樺並木を見に行く事にした。この辺りで雨は本降り、車外に出たがらない家族を無理やり外に出し、それでも白樺と娘(柴犬)の写真を強引に撮影して嫌われた。そしてメルヘン街道に差しかかる「レストハウスふるさと」で昼食、積雪のある麦草峠を通過し、マラソンエントリー会場のある諏訪市東洋バルヴ跡地に行き、前日エントリーを済ませ、下諏訪温泉「児湯」に浸かり、いつもの常宿に一泊、翌日に臨んだ。

10/29 朝起きると当然のように雨が降り続けている。家族は、駐車場で待機。私は、一人で諏訪湖ヨットハーバーに向かう。9時40分スタートゲート、ランナー8000人、ゲストランナーとして「オリラジの藤森慎吾」も参加。私は、100円ショップで5年前に買ったポンチョを着ている。やっと使う時が来た。中には、晴天時と同じカッコで走るランナーも多数いてズブヌレ状態、体が濡れてとにかく寒かったのでカッコは気にせず走る事にした。スタート5分前の合図と同時に土砂降りになり、周囲からは、ため息が漏れていた。10時のスタート合図で一斉に皆走り出す。私も雨に負けず走り出す。最初は、水たまりを避けて走っていたが、途中からは、皆気にせず水たまりを平気で走っている。沿道の応援者も雨にも負けず多くいる。応援のおばあちゃんにアメを貰い、その次は、おじいさんからリンゴを貰い腹いっぱいになっていた。走っている途中、精神的ダメージがきつく、棄権したかったが、とにかく最後まで走り、なんとか完走したのであった。私は、平素か

ら気が強くなく、すぐ弱音を吐くので、今回のマラソンは、結果は別として、かなりいい経験となった。

10/28 稲村山コースタイム

登山口 6:10—6:45 山頂 7:05—7:30 登山口



例会報告 (まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2771	北信・上信越の山 苗場山と破風山・ 土鍋山・笠ヶ岳	雨 時々 曇り	平成 29 年 10 月 14 日(土) ～ 17 日(火)	山下幸宏	井戸澄夫	別稿詳報
2772	丹波 妙見山 白山	晴れ 一時 雨	平成 29 年 11 月 4 日(土)	井戸澄夫	他 1 名	別稿詳報

雑 報

△△△ 11 月の集会

日 時 11 月 8 日 (水) 18 : 30～
場 所 holly' s café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 井戸, 岡田茂, 岡本義, 方山, 森本, 吉田, 清水 7 名
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 10 月の企画運営委員会

日 時 10 月 18 日 (水) 18 : 30～
場 所 holly' s café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 井戸, 清水
内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

10月号 京都山岳，趣味の登山，比良山岳，木雞

△△△ 平成30年1月集会兼新年会のお知らせ

平成29年11月号で開催日を平成30年1月10日と記載していましたが，11月8日の集会において，より多くの方に参加していただくため1月15日に変更することになりました。

誠に申し訳ありませんが，次のとおり訂正させていただきます。

担 当 者 松田 誠二
清水 康裕
堀田 剛

日 時 平成30年1月15日(月)18:30～

場 所 「かごの屋」四条烏丸下ル 地下鉄四条駅6番出入口前

TEL 075-353-8936

※京交山岳部 清水名で予約しました。

会 費 1,000円（当日徴収）

参 考 参加希望者は，1月12日(金)までに必ず担当者まで連絡をお願いします。

平成29年10月21日（土）現在，先月号までに報告した方々に加え，次の方から平成29年度部費を受領しましたので報告します。

（敬称略）廣瀬光太郎，堀田剛

《新入部員募集中》

平成29年12月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>